学校番号	3037

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新図説家庭基礎（実教出版）						
副教材等	新図説家庭基礎準拠学習ノート（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭科は、これからの人生を豊かにし、自分だけでなく社会もより良くしていく「生きる力」を育む学びの場です。未来にどんな生活を送りたいか、どんな自分になりたいかを考えることから始め、生きるための基本的な力を身につけると同時に、社会を変える力も育んでほしいと思います。そのために、ニュースや身の回りの生活に関心を持ち、自ら考え、積極的に取り組んでください。一緒に楽しく学び、充実した未来を築いていきましょう！

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むため に必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践 を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする主体的で実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族・家庭の意義，家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め，生活を主体的に営むために必要な家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて理解しているとともに，それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自分らしい生き方と家族	・ライフステージにおける発達段階について学び，現在の自分の課題を考える。 ・今の自分について自己分析を行い，未来予想図を描く。 ・「大人」と自分を比較し，不足している点を考える。 ・青年期の特徴について学ぶ。	a：青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて理解できる。 b：人生の各ライフステージの特徴と課題について知り，少子高齢社会，男女共同参画社会などの社会状況を考えながら，自分の生活や将来について考えを深め，発表などを通じて考えを表現することができる。 c：現在の自分のこと，将来の生活設計を考えることについて，意欲を持ってとりくもうとしている。	定期考査	学習ノート 定期考査	学習ノート
	住生活をつくる	・快適な住まい方を考え，平面計画を立てる。 ・室内環境と健康のかかわりを考える。 ・快適な室内環境について，日照・採光,通風・換気,騒音，冷暖房などの要素を学ぶ。 ・災害情報の入手方法，安全への備えとして必要なことを考える。 ・誰もが安全に住むための工夫を考える。	a：日照・日射・採光・照明，通気・換気，冷暖房など，健康的な住まい環境における基本的な知識が理解できる。また，住まいの清掃やメンテナンスについても理解し，快適な生活につなげることができる。 b：住まいの管理方法について，適切な掃除や頻度を考え，判断することができる。 c：住まいの機能，住空間の計画や住環境について関心をもち，快適な住まいづくり，よりよい住生活の創造にむけて意欲的にとりくもうとする。	一人暮らしのレイアウトやコーディネート課題 定期考査	一人暮らしのレイアウトやコーディネート課題 定期考査	学習ノート

	食生活をつくる	・自身の食事から食品ごとに含まれる栄養素を学び，バランスの良い食事について考える。 ・食品衛生（食品の選択，食中毒，食品添加物）について学ぶ。 ・調理を通して，基礎的な技術を身につけ，食事マナーを実践する。 ・食品の自給率や食に関する環境問題について考える。 ・環境に配慮した食生活（食品ロス等）について考える。	a：栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ，それを実際の食生活に生かすことができる。 b：自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し，課題解決のために思考し，解決にむけての判断ができる。 c：食品と栄養，調理との関係において，科学的な視点をもって，知識を深めようとしている。また、調理実習においては，積極的に参加し，とりくもうとしている。	定期考査 栄養価計算ワーク	定期考査 調理実習レポート	調理実習レポート 学習ノート
2学期	衣生活をつくる	・快適な衣服の特徴や機能について考える。 ・暮らしの中での素材衣服の性能と改善について学ぶ。 ・洗剤・漂白剤・防虫剤などの種類について学ぶ。 ・衣服の入手から処分までの流れを学び、衣生活の計画を考える。 ・環境に配慮した衣生活について世界の動向を学び，自分たちができることを考える。 ・被服製作実習を行う。	a：衣服材料の性能と特徴，衣服整理についての科学的な知識を身につけることによって，衣服を適切に選択し，管理することができる。また、衣類の購入から廃棄まで，計画的な衣生活を営む知識を身につけている。材料の選択，日常の衣服管理の方法を習得するとともに，基礎縫いなどの縫製技術を身につけ，日常着の管理ができる。 b：現在の衣生活をとりまく状況について，自分の衣生活を振り返りながら，課題を導き出すことができる。 c：自分の衣生活をとりまく状況について関心をもち，衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとする。基礎縫いの確認のための実習や，衣服調査などにおいて，積極的にとりくもうとする。	被服製作実習 定期考査	被服製作実習 定期考査	被服製作実習 学習ノート

2学期	子どもとかかわる	・子どもの発達について考える。 ・子どもの体の成長の様子を学ぶ。 ・幼稚園で子どもとふれあう。 ・子どものころを振り返ることで，基本的生活習慣や社会的生活習慣の身につき方を学ぶ。 ・子どもの食生活・衣生活，安全管理について学び，子どもとかかわれるようにする。 ・子育てにかかわる社会的課題について知り，どのようなサポートが必要とされているのか考える。	a：子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。 b：子どもの心身の発達，現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について，課題を見つけ，解決への考えをまとめることができる。 c:子どもとふれあう体験学習や，子どものためのおもちゃづくり，お菓子づくりなどの実践活動に，積極的に参加し，子どもの発達の様子や生活に興味・関心をもとうとしている。	定期考査	定期考査 保育実習レポート	保育実習レポート 学習ノート
	高齢者とかかわる	・高齢社会の現状を知り，身近な問題としてとらえる。 ・高齢者の生活場面を体験する。 ・介護をめぐる課題の解決にはどのようなことが必要か考える。	a：高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解している。 b：高齢社会の課題やその解決にむけて，新聞記事などを収集し・分析する課程において，課題の発見，解決の方向を導き出すことができる。 c：高齢社会の現状，高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り，高齢者とかかわろうとしている。	定期考査	定期考査 高齢者体験レポート	高齢者体験レポート 学習ノート
	社会とかかわる	・暮らしの中の支えあいについて考える。 ・身近なところのバリアフリーとユニバーサルデザインを見つける。 ・ユニバーサルデザイン製品を考える。 ・防災クロスロードワークをする。	a：社会福祉の意味，現在の社会福祉の状況，社会保障制度のしくみについて理解できる。 b：社会福祉や生涯を通しての社会保障制度のしくみについて，現在の生活課題と関連させながら考えることができる。 c：生涯を通しての社会福祉・社会保障のしくみや地域での支え合いのしくみについて意欲的に理解しようとしている。	定期考査	定期考査 学習ノート	学習ノート

2学期	消費生活	・契約，多様な販売方法や支払い方法について学ぶ。 ・問題商法による被害を未然に防ぎ，早期解決する方法を考える。 ・日常生活が地球環境やグローバル社会に与える影響について考える。 ・持続可能な社会の実現に向けた消費行動について考える。 ・これからの社会に求められる消費者の自覚と，行動のあり方を検討する。	a:契約についての知識を身につけている。消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解している。 b: 消費行動と環境とのかかわりについて，生活と関連させながら課題をみつけ，解決の方向性を判断することができる。 c: 自分が一消費者であることを自覚し，物・サービスの購入のあり方や，消費行動，消費と環境とのかかわりについて積極的に理解しようとする。	定期考査	定期考査	学習ノート
3学期	自分らしい生き方と家族	・男女共同参画社会について学ぶ。 ・働く意義とどのような仕事（職場）で働きたいと思うかを考える。 ・職業労働と家事労働の違いをまとめる。 ・職業生活や家庭生活における時間の使い方について考える。 ・家族に関する法律の資料を観ながら、考えをまとめて話し合う。 ・家族の抱える問題について学び、具体的なサポートのあり方について考える。	b: 家族・家庭に関する課題・問題点について，社会的な制度，労働環境や雇用情勢などの背景も考慮しながら原因を推測し，解決へ導くための考えをまとめ，レポートを通して発表することができる。 c: 男女共同参画社会など，現在の社会的状況について，興味を持って知ろうとする態度がある。		学習ノート	学習ノート
	消費生活と経済的自立	・生活における経済と社会のかかわりについて学ぶ。 ・収入と支出にはどのような項目があるのか学ぶ。 ・適切な家計管理について考える。 ・将来のライフイベントや起こりうるリスクと，その費用について考え，長期的な経済計画について学ぶ。 ・金融商品の特徴と選択基準を学ぶ。	a:契約についての知識を身につけている。短期・長期の経済計画にかかわる実習を通して，経済的な側面から人生設計を組み立てることができる。 b:将来のライフイベントとその費用を考えることができる。 c: 自分の経済的自立を考えながら，家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について，積極的に理解しようとし，短期・長期の経済計画について意欲的にとりくもうとしている。	プリント	プリント	学習ノート

	生活設計	・家庭基礎の学習を生かして，自分らしい生き方を設計する。	b:精神的な自立，経済的な自立，生活的自立，性的自立にむけて，家庭総合で学んだ技術や知識を確認し，これからの人生を考え，設計できる。		学習ノート	

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度